

大和高田市立病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名 (研究番号)	一側性感音難聴の実態調査 (No. R2-17)
当院の研究責任者 (所属)	小山 真司 (耳鼻咽喉科)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	東京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科・山嵜達也・教授 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉科・吉田晴郎・准教授 ・高橋晴雄・客員研究員 名古屋市立大学病院耳鼻咽喉科・岩崎真一・教授 近畿大学病院耳鼻咽喉科・土井勝美・教授 九州大学病院耳鼻咽喉科・中川尚志・教授 帝京大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・伊藤健・教授 ・岩波朋子・臨床助手 耳鼻咽喉科専門医研修施設 約 600 施設
本研究の目的	一側性難聴は本邦では日常生活や学校教育に支障が無いとされてきました。しかし、近年一側性難聴の日常生活に与える影響が海外から多く報告され、海外では一側聾に対する人工内耳手術が認可されつつあります。国内でも難聴議連を中心に一側性難聴への人工内耳の議論がなされるようになってまいりました。このような背景から、一側性難聴の実態を調べ、一側性難聴に対する診療指針を作成することが必要となってきております。従来小児では就学時頃まで一側性難聴の診断は困難でしたが、近年では一側性難聴の1/4が新生児聴覚スクリーニングで発見されるようになりました。乳幼児での正確な頻度と診療実態を調べるのが可能となっており、今回全国的に一側性難聴のアンケート調査を行い、本邦における実態を調査することにしました。
調査データ 該当期間	2018年4月から2020年3月までの情報を調査対象とする (※研究全体の実施予定期間ではなく、研究として収集する調査データの期間です)
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に耳鼻咽喉科を受診し中等度以上の一側性感音難聴を認めた方。 ●利用する情報 上記条件を満たす方の性別、年齢、原因疾患、重症度、介入（治療）の有無、治療経過の詳細を回答します。
試料/情報の 他の研究機関への提供 および提供方法	他の機関への試料の提供はない 多施設共同研究であり、上記の他の研究機関・研究責任者へデータを提供 (※個人情報を削り匿名化したうえでパスワードロックのかかったUSBメモリーを東京大学医学部附属病院へ郵送します。)
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話：0745-53-2901 担当者：耳鼻咽喉科 横田尚弘
備考	